

レボノルゲストレル錠 1.5mg 「F」

【この薬は？】

販売名	レボノルゲストレル錠 1.5mg 「F」 LEVONORGESTREL tablets
一般名	レボノルゲストレル Levonorgestrel
含有量 (1錠中)	1.5mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、経口避妊薬と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、おもに女性のホルモン分泌系に作用して排卵を抑え、妊娠を防ぎます。また、子宮に作用し、受精卵の着床を防いだり、子宮内に精子を入りにくくしたりするはたらきもあります。
- ・次の目的で処方されます。

緊急避妊

- ・この薬を飲むことによって、完全に妊娠を回避できるものではありません。
- ・この薬は、自己判断して量を加減すると本来の効果が得られないことがあります。指示どおりに飲むことが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にレボノルゲストレル錠「F」に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人

- ・肝臓に重篤な障害のある人
 - ・妊娠している人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使う前に医師または薬剤師に教えてください。
- ・肝臓に障害のある人
 - ・心臓や腎臓に障害のある人、または過去に心臓や腎臓に障害があった人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。
- この薬の使用前に、妊娠していないことを確認するため、内診、尿検査などが行われます。また、肝臓、心臓、腎臓に障害があるか、過去に障害があったかどうかを確認されます。
- 重い消化管障害（消化管からの吸収が悪い状態など）がある場合には、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

一回量	1錠
回数	1回

・この薬は性交後72時間以内に飲みます。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬は、性交後に妊娠を避けるものであり、計画的に避妊する場合は、経口避妊薬など避妊効果の高い方法で避妊してください。
- ・この薬を飲んだ後も妊娠する可能性がありますので、適切な避妊について十分理解できるまで説明を受けてください。
- ・この薬を飲んだ後の不正子宮出血や妊娠初期の出血は、通常の月経と区別がつかないことがありますので、出血の有無に関わらず、医師の指示のとおり再度来院して医師の診察を受けてください。
- ・セイヨウオトギリソウを含有する食品はこの薬に影響しますので、控えてください。
- ・この薬を飲んだ後24時間は授乳を避けてください。



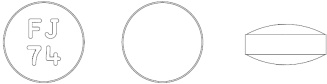
副作用は？

特にご注意ください副作用と、主な自覚症状を記載しました。

このような場合には、できるだけ早く医師または薬剤師に相談してください。

副作用	主な自覚症状
不正性器出血 ふせいせいきしゅつけつ	月経時以外の性器からの出血

【この薬の形は？】

PTP シート	表面 
	裏面 
形状	
直径	7mm
厚さ	3.6mm
重さ	140mg
色	白色
識別コード	FJ74

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	レボノルゲストレル
添加物	トウモロコシデンプン、ポビドン、デンプングリコール酸ナトリウム、軽質無水ケイ酸、ステアリン酸マグネシウム、乳糖水和物

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：富士製薬工業株式会社 (<http://www.fujipharma.jp/>)

学術情報課

電話番号：076-478-0032

受付時間：9時～17時

（土、日、祝日、その他当社の休業日を除く）